

## 審議会等の会議の概要の記録

会 議 の 名 称	令和5年度 第3回甲州市障害者自立支援協議会
開 催 日 時	令和6年2月20日 午後2時00分～午後2時55分
開 催 場 所	甲州市役所本庁舎 2階 第1会議室
議 題	(1) 答申(案)について (2) 令和5年度の実績報告について (3) 相談支援実務担当者会議からの報告について
出 席 委 員	早乙女修一委員、平山重一委員、鹿野和幸委員、矢崎繁委員、川口典子委員、鈴木雄人委員、久保貞夫委員、三科英訓委員、芦沢幸子委員、吉村純委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍 聴 人 の 数	0人
審 議 概 要	別紙会議録のとおり
事務局に係る事項	出席者 福祉総合支援課7名(町田課長、河村リーダー、佐藤リーダー、姫野、日原、保科、北井) 子育て・福祉推進課1名(青沼) 相談支援実務担当者会議1名(澤登部会長)
そ の 他	

内容	発言内容・決定事項等
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 答申（案）について</p> <p>(2) 令和5年度の実績報告について</p>	<p>○事務局</p> <p>第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画案について、前回の協議会から本日までに修正した箇所の説明と、パブリックコメントの結果を報告。その後、諮問のあった「第3次甲州市障害者総合計画の中間評価及び見直しについて」と「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の策定について」の答申案について説明。</p> <p>&lt;質問・意見なし&gt;</p> <p>○三科会長</p> <p>答申案のとおり答申することとしてよろしいでしょうか、賛成の方は拍手をお願いします。</p> <p>(拍手多数)</p> <p>○三科会長</p> <p>ありがとうございました。答申案のとおり答申することに決定しました。</p> <p>○事務局</p> <p>資料に基づき令和5年度の実績報告を行う。</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <p>○矢崎委員</p> <p>障害者差別に関しては問い合わせや問題等がなかったとありますが、法改正によって4月以降に民間事業者の合理的配慮が義務化され、（これから話す内容が）差別になるかわからないが、JRの押しボタン式のドアがあると思うが、視覚障害者が単独で乗車する場合に、ボタンが非常に小さく探るのが大変です。私は盲導犬を連れていきますが、盲導犬はドアが開いたら誘導してくれるので、ボタンに対しては何もしてくれません。盲導犬を替える前は、ドアの位置を繰り返し教えて、そこまで誘導してもらってからボタンの位置を自分で探るということをしてきましたが、新しい盲導犬に替えたのでボタンの位置まで行けない状況になっています。4月以降は義務化になっていますが、こうしたことは差別になるのでしょうか。なお、コロナの</p>

ときはボタンに触れることへの対策として、車掌がドアを開けてくれました。視覚障害者団体としてJRに要望はしているがなかなか対応してもらえません。

○事務局

今回のケースについては、合理的配慮に欠ける部分があると感じました。合理的配慮の義務化というところも踏まえて改善の必要があると思われるので、県の障害者差別解消推進員やJRと話をしながら改善に向けて取り組みをしていきたいと思います。

○矢崎委員

よろしくをお願いします。ブザーを付けたらどうか、お金をかけなくても車掌がボタンを押して開けることで解決するのではないかと私は考えています。

○三科会長

他に質問や意見はありますか。

○吉村委員

前回欠席をしてしまい今更ではありますが、実績報告の資料の3ページに放課後等デイサービスのニーズが増えていると書かれていますが、計画書の17ページでは放課後等デイサービスの利用見込みの人数が減ってきているところが目に入ってきました。これは、不登校児童生徒の指導要録上の出席扱いに関するガイドラインですとか、インクルーシブ教育の実践のための体制構築というところを加味して今後進めていくという数値なのか気になりました。

○事務局

放課後等デイサービスについては、今後も増加していくことは予想されますが、吉村委員のおっしゃるとおり、今後はインクルージョンを推進する体制を構築し取り組んでいくこととなりますので、徐々に減らしていくという目標として設定しています。

○吉村委員

もう一点、先ほどの報告の地域の声というところで、重度障害者の行き場がなかなかという話があったかと思います。来年度からの法律改正で、地域の中でできるだけ重度障害者の方をみていくところを強化するという部分で、例えば生活介護事業所やグループホームなどには手厚い加算が付くようになります。併せて、国としても強度行動障害ですとか、また、そういっ

<p>(3) 相談支援実務 担当者会議からの報 告について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>	<p>た方を支援する中核的人材を養成し、事業所に入って支援プログラムを作 っていくということに関しても、かなり高い加算が付くという中では、国と しては重度障害者の方の地域生活というところを実現していってもらいた いというところでは、もしかしたらこの協議会を通して甲州市にも大きな 社会福祉法人もあるので、働きかけをしていく必要があるかなと思いまし た。</p> <p>○事務局 国の指針の中で、地域の自立支援協議会において地域資源の開発という 部分が新たに目標として示されましたので、甲州市においても次期計画で 盛り込んだところでは、今後は協議会の中で地域の課題を抽出し共有して いく中で、地域資源の開発というところに波及させることができると考 えています。</p> <p>○事務局 「相談支援部会」から「相談支援実務担当者会議」への名称変更について 説明。</p> <p>○澤登部会長 資料に基づき相談支援実務担当者会議の実績を報告。</p> <p>&lt;質問・意見なし&gt;</p> <p>○事務局 市長への答申書の提出、その後の計画の策定について説明。</p>
--	---